

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月30日

【評価実施概要】

事業所番号	4572200170		
法人名	有限会社日豊福祉サービス		
事業所名	グループホーム高千穂		
所在地	宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井3258番2 (電話) 0982-73-1878		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番22号		
訪問調査日	平成20年8月22日	評価確定日	平成20年9月30日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「ゆっくり、一緒に、楽しく」を、スローガンに掲げ、施設長はじめ全職員が、心に寄り添うケアに取り組み、日々努力している姿が見られ、利用者の笑顔にそれを実感することができた。施設長はじめ管理者、職員は常に質の高いケアを目指し、利用者とのコミュニケーションを大切にしている。

【重点項目への取組状況】

【情報提供票より】（平成20年6月30日事業所記入）

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成16年6月14日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤13人, 非常勤0人, 常勤換算6人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建て	1～2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,050 円

(4) 利用者の概要(平成20年6月30日現在)

利用者人数	17名	男性 5名	女性 12名
要介護1	8	要介護2	3
要介護3	5	要介護4	1
要介護5		要支援2	
年齢	平均 87歳	最低 77歳	最高 98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐藤医院、高千穂町国民健康保険病院
---------	-------------------

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	災害対策については、地域の消防団、運営推進委員を交え、話し合いが持たれ訓練が行われており、地域との関わりもできてきている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で自己評価に取り組み、それぞれに気づき、改善点を見だし話し合われている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	ホームの現状報告、意見交換が行われ、防災訓練の話し合いを基に、地区消防団や運営委員の協力を頂きながら、訓練が実施されるなど、着実に討議内容を生かした取り組みをしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ホーム便り発送時に、利用者の家族へ個々のメッセージをつける等の配慮がされている。利用料を毎月持ち込みにして、来訪時に話す機会作りをする事で、意見をもらっている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の祭りなど、行事への参加、ボランティア受け入れ、ホームの行事参加案内をしている。また、地域の教育機関との交流もあり、体験学習の受け入れをしている。近隣の幼稚園、小学校、中学校のボランティアの来訪を受けるなど、交流をしている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念をより分かりやすくするための話し合いがなされ、独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「ゆっくり、一緒に、楽しく」とスローガン化された理念を共有し、実践に向け日々利用者に寄り添ったケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事への参加や、ホーム行事参加への呼びかけをしている。なお、近隣の教育機関との交流もあり、体験学習の受け入れや、ボランティアの受け入れをしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価に全職員で取り組み、気づきや改善に結びつけている。		

宮崎県高千穂町 グループホーム高千穂

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3か月に1回の運営推進会議で報告・話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に生かしている。また、防災訓練等の話し合いもされ実践に結びつけている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームの現状報告・問題点等を相談するなど、共にサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的な便りに個人あてのメッセージをつけて送付している。また、ホーム来訪の時、現状報告・説明等、話す機会を作るようにし、個々にあわせた対応をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用料を持参してもらい、来訪時の対話を大切にしている。要望があればそれに対応するケアに努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	引き継ぎの際、2か月位は日勤のみの仕事をサポートを受けながら対応し、まずは利用者の事を理解する等、ダメージを防ぐ配慮をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に参加し月1回の全体会議で更に報告・勉強につなげている。研修のレポート提出をして全員で共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ネットワーク研修及びデイサービスや同町のグループホームと交流する機会をもち、サービスの質の向上を目指す取り組みをしている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービス利用に際しては、家族・本人に来院してもらい、時間の許す限りホームで過ごし、食事等も一緒にとってもらい雰囲気になじめる工夫をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の生活の中で、共に過ごす関係ができていく。穏やかな中に笑顔が見られ、学んだり支えあう関係が築かれている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや意向の把握に努め、帰宅願望や外出希望等にも対応したケアに努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は本人・家族・職員の希望や気づきを取り入れて作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	その時々に対応し検討会を開き、現状に即した介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	理美容や病院の付き添い、外出願望等への対応等、柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	掛かりつけ医、専門医への受診は希望に応じた支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化については話し合いがなされ、病院や施設移動への方針で共有されている。	○	終末期のあり方については話し合われていないので、検討される事をお願いしたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	プライバシー確保は徹底されており、言葉かけや対応にそれがうかがえた。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人のペースで寄り添ったケアがなされており、希望に沿った支援がなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、片づけ等、できる事での参加をされている。また、食事介助もさりげないサポートをされており、楽しみながらの食事風景であった。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個々の都合に合わせて対応し、入浴日でもシャワー対応をしたり、時間帯も希望に沿うように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴から本人の出来る事を見だし、家事の手伝いや個々の趣味等を生かし、編み物や折り紙等の役割・楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	屋外散歩やドライブ・買物等、戸外に出る支援をし、その日の希望によっては個々の外出支援もしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛ける事の弊害は理解しているものの、不穏状態時の徘徊、事故防止のために、玄関に鍵を掛ける事がある。その時には家族の了解を得ている。		

宮崎県高千穂町 グループホーム高千穂

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域消防団への呼びかけや、推進委員との連携で訓練を行い、地域の人々の協力を得られるよう働きかけをしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量は、個々の記録に記入されているが、文章化されていてひと目ではわかりづらい。	○	献立の内容、栄養バランス等を専門的な観点からチェックしていただいたり、食事・水分摂取量の記録のあり方に工夫されることをお願いしたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感があり、利用者の作品展示など配慮されたものであり、居心地のよい共用空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い込まれたものが持ち込まれ、居心地良く過ごせる居室への配慮がされている。		

※  は、重点項目。